



私の決意

学校を卒業しても正規雇用先すらない若者。
年金・介護・医療など個人負担は増えても恩恵にあずかれない高齢者、
子どもを預けたくても不足する保育園—
いつの間にか私たちのくらしは苦しくなる一方で、
先行き不安も募ります。

だからこそ、今ほど政治が必要とされている時はありません。
「微力だけど無力じゃない」とは、

核兵器廃絶の活動を続ける高校生平和大使の合言葉です。

一人の力は小さくてもそれが集まれば大きな力となります。

私は、皆さんの声を議会に行政にしっかりと届け、

「くらしが優先される街づくり」が実現できるよう全力で取り組みます。

大瀬のりあき プロフィール

生年月日：1962年(昭和37年)11月26日

現在の神石高原町に生まれる

最終学歴：1981年3月 広島県立油木高等学校卒

職歴：1981年3月 広島電鉄株式会社入社

電車運転士として働く一方、労働組合運動に参画し、

青年婦人部長など歴任

2003年10月 青年運動専従を終了後、社民党広島県連合専従

現在：社民党広島県連合副幹事長

安佐南区を住み良くする市民の会副会長

広島県立祇園北高校PTA副会長

広島市立大学後援会副会長

家族：長男(大学3年)、次男(高校3年)

趣味：写真、読書(自然科学)



政 策

1 のびのび育つ教育・保育 子どもは未来の希望です

保育園の増設と認可保育園の拡大で、待機児童ゼロを実現します。また、小中学校の30人以下学級で、きめ細やかな指導ができる教育環境をつくります。

2 希望を持って働く仕事 流した汗は報われなければなりません

最低賃金の引き上げ、性別による不利益の解消、非正規雇用者の正規雇用化へ、自治体としての働きかけを強めます。

3 安心して暮らす年金・医療・介護 社会保障は政治の責任です

各種保険料の負担軽減に取り組むとともに、医療・介護サービスの実現をめざします。

4 尊重し共生する環境・人権・平和 何より命が大事です

災害に強い安心の町づくりを進めます。自然エネルギーの活用で原発に頼らない環境を整備します。また憲法を暮らしに活かし、人権・平和を発信するヒロシマをつくります。

5 便利で快適な移動 公共交通・道路整備 交通の確保は生活の基本条件です

公共交通の利便性を高め、通学・通院など移動にやさしい交通網を整備します。また、道路改良により朝夕の交通渋滞解消を進めます。



土砂災害の被災地を視察